

どこまでも広がる世界

～おくゆきのある表現にちょうせんしよう～

5・6年上の図工の家庭学習は『どこまでも広がる世界』という題材です。その中で、「おくゆき」のある表現をテーマに取り組んでみましょう。わたしたちの身の回りには、絵や写真、もようなどがたくさんあります。「おくゆき」という視点でその一つ一つを見てみると、どうでしょう。「おくゆき」を感じるものと、感じないものがあると思います。そもそも紙の上には、「おくゆき」はありません。それなのに、なぜ「おくゆき」を感じることができる絵や写真、もようなどがあるのでしょうか。そんなことを考えながら取り組んでみましょう。

高学年の図工の中での新たな視点、そして身近な「作品」を見る新たな視点にもなれば...と思います。

用意するもの (用意できたら、□に✓を書こう)

- えん筆・消しゴム
- 色えん筆 など
- 練習用の紙 (昨年度のノートのみでよい)
- ワークシート

【注意】練習用の紙は、昨年度のノートで余っているページがあれば、それでもかまいませんし、自由帳でもよいです。紙(ノート)の向きは、たてでも横でもどちらでもよいです。

1. 「おくゆき」の表現を練習しよう。

- (1) まず、練習用の紙を使います。
- (2) その紙の上に1つ○をかきます。場所はどこでもよいです。○の大きさは、こぶしの大きさくらいです。
- (3) 空いている所にもう1つ○をかきます。
(2)の○よりも小さくかきます。

【質問①】(2)と(3)の○は、どちらが前にあるように見えますか。

- (4) 空いている所にもう1つ○をかきます。
(3)よりもさらに小さくかきます。

【質問②】3つの○の中で一番おくに見えるのはどれですか。

※紙には「おくゆき」はありませんが(2)から(4)のように○の大きさを変えてかくことで「おくゆき」を表現することができます。「おくゆき」を表現するためには、○と○を重ねるという方法や、色のこさを変えるという方法などもあります。

- (5) ○の大きさを変えたり、○を重ねたりしながら、たくさん○をかいて「おくゆき」のある空間を表現してみましょう。

2. どこまでも広がる世界を表現しよう。

ワークシートを見てください。まずは、自分のオリジナルキャラクターを考えます。そのキャラクターの大きさを変えたり、色を変えたりしながら、自分だけの「どこまでも広がる世界」を想像し、ワークシートのわく(青)の中にえがいてみましょう。

3. 作品の説明をしましょう。

ワークシートの下にある作品の紹介文には「がんばったこと」や「工夫したこと」ではなく、**どんな世界を表現したのか**を文章にしてください。スペースが足りない時は、はみ出してください。